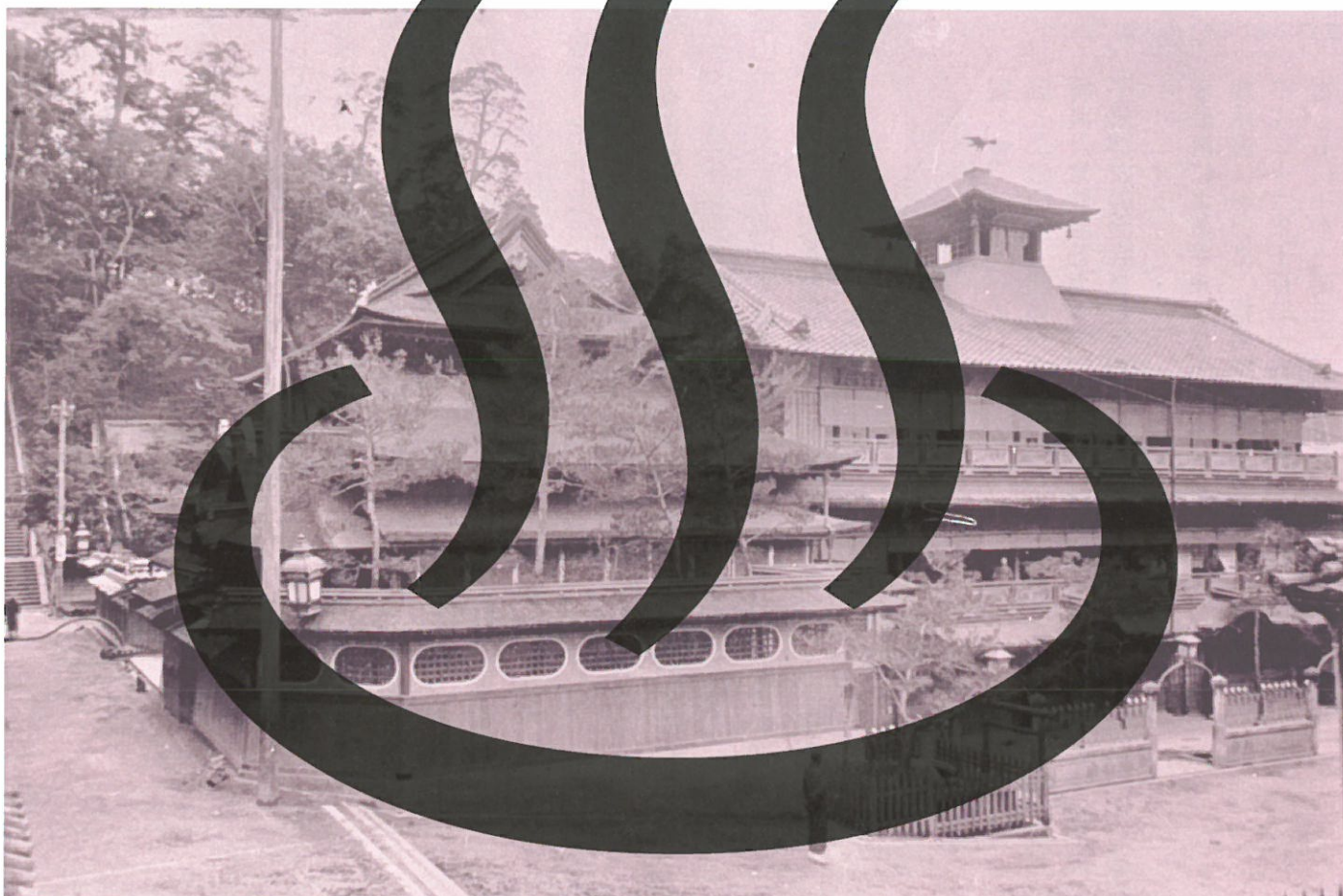


平成26年度特別展

道後の湯 — 松山文化の源泉 —



会期 平成26年10月18日(土)～11月16日(日)

※会期中は無休で開館

DOGGO

開館時間 10月31日まで：午前9時～午後6時（展示室入場は午後5時30分まで）

11月1日より：午前9時～午後5時（展示室入場は午後4時30分まで）

会場 松山市立子規記念博物館 3階特別展示室

観覧料 個人200円 団体160円 65歳以上100円 小中高校生 無料

特典／常設展とセットで特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引

子規博友の会会員が特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は2割引

松山市立子規記念博物館

平成26年度特別展

道後の湯―松山文化の源泉―

子規のふるさと松山は、道後温泉の恵みに抱かれ、道後や城下町を舞台に、豊かな文化を育んできました。

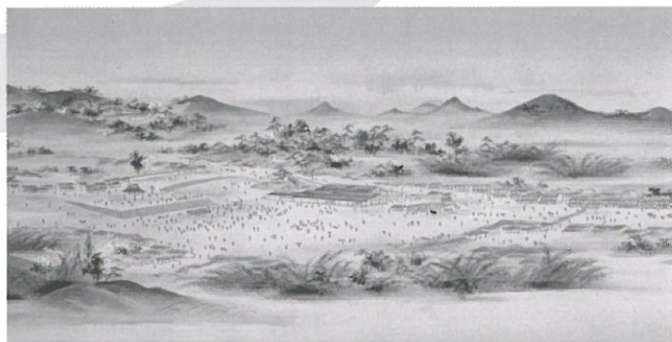
道後温泉は古代から名湯として知られ、江戸時代には松山藩の保護のもと、湯治場として本格的に発展します。道後のにぎわいは独自の温泉文化を生み、多くの人々をひきつけ、松山の文芸を花開かせました。温泉を愛し、その経営に力を入れた歴代の藩主たちは、和歌や俳諧、絵画などをよくし、学問を奨励し、地方文化の礎を築きます。また松山藩の治世下、能書家の明月や俳人の栗田樗堂、漢詩人の日下伯巖らが活躍しました。道後温泉はこうした多くの文化人たちにも親しまれました。松山の文芸は、まさに道後の湯を源泉として豊かに展開していったのです。

道後温泉は明治時代以降も発展を続け、道後・松山の文化的土壌は子規をはじめ多くの人々に影響を与えました。ふるさとを心から愛した子規は、道後温泉や松山を様々な作品に詠み込み、またふるさとを慕う文章をいくつも書き残しています。

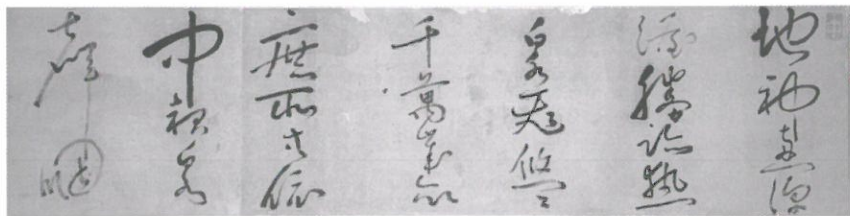
今回の特別展では、本年松山市が「道後温泉本館改築二二〇周年」という節目を迎えることを記念し、道後温泉と松山の文化史を物語る様々な資料を展示し、人間子規を生み育んだ土壌を紹介します。



『四国へんろ道しるべ』(個人蔵)



道後温泉絵図(江戸時代後期) [松山市指定有形文化財]



明月漢詩「道後温泉詩」 [松山市指定有形文化財]



松山藩異国船年番図

観覧料

個人二〇〇円 団体一六〇円 六十五歳以上一〇〇円 小中高校生無料

特典／常設展とセットで特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は二割引
子規博友の会会員が特別展の観覧券を購入する場合、特別展の観覧料は二割引

学芸員によるギャラリートーク

展示室において、担当学芸員が特別展の内容を解説します。

平成二十六年十月二十六日(日)・十一月九日(日)

※ともに午前十時三十分から五十分程度。

※聴講無料。ただし特別展の観覧券が必要。



道後温泉駅より徒歩約5分／道後公園駅より徒歩約5分
*公共の交通機関をなるべくご利用ください

松山市立子規記念博物館

TEL 089-931-5566 〒790-0857 松山市道後公園 1-30
施設運営・管理/株式会社レスパスコーポレーション
<http://sikihaku.lesp.co.jp/>